

# 令和元年度国際理解ワークショップ 進行シート

2019年 8月 1日作成

大 学 名 : 新潟大学

タイトル: ハラフードってなあに? ~トンカツや豚骨ラーメンが食べられない! ? ~

## 1 : 本ワークショップの要旨

日本では、世界の多様な宗教に対する習慣などを学習する機会は少ない。このワークショップでは、近年注目されているイスラム教のハラフードを取り上げ、イスラム国の宗教事情・ハラフードについて、日本のハラフードの現状や東京オリンピックに向けての取り組みなどの関心の高い事柄を交えながら、クイズ形式などで考察する。このワークショップを通して、異文化理解への興味・関心を持ってもらう。

## 2 : 本ワークショップの目的(目標、実現したいこと)

外国の食文化を知ること、各国にはそれぞれの文化や歴史、習慣や考え方があることを理解してもらい、自分となじみのない文化について考え、多文化共生のきっかけとしてほしい。

## 3 : 本トピックをとりあげる理由

誰もが必要である食に着目し、宗教の関係で口にできない食べ物があるなどの、宗教や文化の違いを正しく認識することが求められており、グローバル社会に向けて多様な文化を理解することは多文化共生にとって必要不可欠と考えたため。

## 4 : 活動過程

(使用時間 : 90 分 参加人数 : 6 人)

過程 (所要時間)	活動内容	具体的な発問・ 説明・動きなど	ねらい	使用する 教材・備品	予想される反 応、その他注意 事項
導入 : 起 (10分)	背景紹介 (5分)	イスラム教の世界分布や人口、日本における移住者や観光客の年推移を紹介する	イスラム教についての現状を把握してもらう	スライド (PPT) * グラフ	外国につながりを持つ児童がいる場合は配慮する
	イスラム教基礎知識 (5分)	お祈り、服装、男女間の決まり事などイスラム教について知っておくべきことについての紹介	イスラム教について知ってもらう	スライド (PPT) * 写真 (動画)	
展開 : 承 (15分)	食文化について (15分)	ハラールやラマダンについて他の食文化と比較をしながら紹介する	食文化の違いを理解し、身近に感じてもらう	スライド (PPT) * 写真 ハラールマークのついた食品	イスラム教だけが特別なものとして認識されないよう留意する
発展 : 転 (20分)	インタビュー映像 (10分)	ムスリムの人をはじめとする留学生の生活や困っていることについてのインタビュー映像を見ってもらう	留学生の、生の声を聞いてもらう	動画	
	日本での取り組み紹介 (10分)	食や礼拝に関する日本での取り組みを紹介する	日本で受け入れに向けてどのようなことが行われているかを知ってもらう	スライド (PPT)	
	休憩				

まとめ : 結 (45分)	グループワーク1 (20分)	ムスリムの人と一緒に生活するにはどのような場面でどのような気配りが必要か	迎えるという観点で当事者意識を持ってもらう	スライド (PPT) 模造紙 (大きめの紙)、付箋、ペン
	グループワーク2 (20分)	日本企業がイスラム圏の国に進出するにはどうしたらいいかを各班で考える。企業は班ごとに異なる。	ムスリムの目線になって物事を考えてもらう。	スライド (PPT) 模造紙 (大きめの紙)、付箋、ペン
	まとめ			

## 5 : 会場のセッティング

5, 6人の班を作ってグループワークを行いたいと思っています。机があればメンバーで囲めるような配置でも構いませんが, 机に高低差がある場合は直接床に座って作業ができるような配置でも構いません。

## 6 : 使用する教材

スライド, 動画, 模造紙, 付箋, ペン,

## 7 : 参考にした資料

ムスリムおもてなしガイドブックなど

## 8 : その他